



2014-15 年度 年次総会

半期報告 会長 吉田良尚

今年7月に会長の任期が始まってから約半年が過ぎようとしていますが、これまで会員の皆様とりわけ日高副会長、増崎幹事や事務局の中田さんのサポートがなければ何事もできなかったと痛感し、皆様に感謝しているところです。

さて、この半期で一番の行事は、何と言ってもやはり10月5日に開催された創立30周年記念式典並びにこれに関連する行事であったと思います。この記念式典、関連する事業については、江上実行委員長始め全会員のご協力を頂き、無事に終了することができました。記念式典には、田上長崎市長、宮崎ガバナー始め多くのご来賓のご出席を頂き創立30周年を祝って頂きました。折から台風が長崎に接近しており、藤沢南ロータリークラブの方々や釜山コレジャロータリークラブの方々が無事参加して頂けるのか、また無事にお帰り頂けるか等々随分心配を致しましたが、無事に行事を終えることができホッとしたことを今でも覚えています。記念事業としましては、長崎市内の3つの児童養護施設に記念品を贈呈し、また、海星学園にも記念品を贈呈いたしました。3施設からは、この件を含め、これまでの当クラブの永年にわたる奉仕活動に対して、感謝状を頂戴いたしました。これも先輩方が青少年奉仕活動に尽力してこられた賜物だと思っています。さらに、記念事業の一環として、明治日本の産業革命遺産を巡る「さるく」を実施しました。バスを使うもの、船を使っのもの、15km歩くというものの3種類を合計4回に渡って実施しましたが、船のさるくには定員を超える211名、バスには、34名、24名、歩きには24名が参加して頂き、いずれも参加者の感想は上々でした。聞くところによりますと、船、バス、歩きとすべてに参加された方もおられたそうです。また、懇親会ではとても楽しい時間を過ごすことができました。海星高校のブラスバンドの演奏に始まり、ハミングバーズのコーラス、南部さんの傘鉾、検番の踊り、ベリーダンスとてんこ盛りの演しもので、始まる前にはちょっと多すぎるのではないかと心配したのですが、終わってみると、それぞれにとってもよかったです。他のクラブの人からも西ロータリークラブらしく楽しい懇親会だったねと言われたものでした。

例会では、昨年度は、高木前会長のお嬢様がピアノ演奏を下さっておりましたが、今年度はおめでたということもあって無理と言うことでした。それで、できれば続けたいけれど無理かなと悩んでおりましたところ、牧会員のご紹介で演奏下さる方が見付き、毎回例会でピアノ演奏をして頂いており、とても和やかで華やいだものになっていると思います。

次に、8月18日から9月8日までスコットランドのアバディーンからトーマスグラバー記念奨学生アンドリュー・ツイディー君を主ホストクラブとして受け入れました。8月20日歓迎夕食会、8月26日長崎市長訪問、9月7日送別会等々ぎっしりと詰まったスケジュールの中、うち1週間は長崎ロータリークラブの方で引き受けて頂きましたが、その外は、山口健太郎会員宅でお世話をして頂きました。山口会員のご家族には大変お世話になりました。山口会員の二人のお嬢様とツイディー君とは随分仲良くなったようで、ツイディー君が帰国した後しばらくお二人は気が抜けたようになられていたそうです。山口会員のご家族には、改めて御礼申し上げます。

9月11日にはマリア園の毛布クリーニング奉仕活動を行いました。これは皆様ご存じの通り、三宅敏彦会員が始められた奉仕活動に、西ロータリークラブが協力するという形でもう永年継続しているものです。活動が終わった後、園長先生がおっしゃっていた、「ここにいる間は未だ良いが、ここを出た後心配な子がいる」という言葉が心に引っかかっています。今後私達が心に留めておかなければならないことではないかと思っています。

11月4日には観月例会をガーデンテラス長崎において開催しました。通常であれば、9月の中秋の名月の頃に開催するのですが、今年は、9月にガバナー訪問、ガバナー補佐訪問があり、10月初めに30周年記念式典が開催されるということで、異例ですが、11月4日に開催いたしました。月は満月ではありませんでしたが、空気が澄んでいてとてもきれいな月を見ることができましたし、長崎の夜景と月をバックに酒を飲むというのはとても良い時間でした。

ところで、各種寄付の11月末現在の状況ですが、ニコニコは年間150万円のところ、65万920円で、ほぼ予定通りというところです。しかし、ロータリー財団寄付目標一人年間150ドル、米山記念奨学金寄付目標一人年間16,000円につきましては、ロータリー財団が13万9900円、米山記念奨学金が17万5000円となっております。目標のペースには大きく及ばない状況です。このような時期に皆様に寄付をお願いするのは大変心苦しいのですが、目標に近づくために、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。次に会員増強ですが、高木前会長から7月に引き継ぎスタートした直後に会員数59名となり、60名に復帰するのも時間の問題と思っておりましたが、残念ながら10月末に南部博さんが職務多忙を理由に退会され、現在58名となっております。ただ、嬉しかったのは、数名の会員のフォローもあって、南部さんからは時間ができたらまた入会させて欲しいという言葉があったということです。前半はどうしても30周年記念事業に全力を傾注していたこともあり、会員増強の方にはなかなか気配りができなかったと反省しております。残り半期は是非当クラブにふさわしい人に入会して頂くよう、折式田委員長始め皆様のご協力を頂きながら会員増強に力を入れたいと考えておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。そして、平山次期会長には是非60名を超える会員数でバトンタッチしたいと思っております。7月以降に入会された石井さん、西さん、林田さんには、いずれも早くからクラブになじんで頂いており、様々な活動にご協力頂いていることは大変嬉しいことです。会員増強を図るためには、会員の勧誘とともに、当クラブが、ますます魅力あるクラブにならなければならないと考えています。今後は、そのことが当クラブに入会したいと思っ下さる方が一人でも多く生まれるよう、さらには会員の退会防止につながるような工夫をしていきたいと考えています。そのための方策の一つとして西会があります。ところが、9月24日に開催された西会には、その直前に私が大げがをするという失態をやらかしまして欠席をしてしまいました。大変申し訳ありませんでした。西会はあと2回予定されておりますが、ロータリークラブを楽しく勉強し、親睦を図ることを目的としておりますので、特に入会3年以内の会員の方は是非出席して下さるようお願いいたします。漸く本日半期報告をすることになり、また次年度の役員も本日決定して頂く予定です。また、懸案だった次年度のガバナー補佐には三宅敏彦会員を推薦することでご本人のご承諾を得、本日理事会のご承認を得ました。三宅会員には大変お忙しい中、無理にお願いを致しました。会員の皆様には、来年度三宅会員を当クラブとして全力でサポートして下さるよう、よろしくお願い申し上げます。

ということで、この半期報告をいたしまして、私の役目の大半は終わったと思っているのですが、先ほど申し上げましたように、残り半期は会員増強に力を入れていきたいと思っておりますので、どうぞ皆様には今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2015-16 年度理事役員発表・承認 (敬称略)



会長 平山寿則



直前会長 吉田良尚



会長エクト 北口功幸



副会長 高橋市郎



幹事エクト 川口輝彦



S A A
川瀬隆史



クラブ奉仕担当理事
日高豊久



職業奉仕担当理事
野崎地平



社会奉仕担当理事
小林直樹



国際奉仕担当理事
山口健太郎



青少年奉仕担当理事
嶽本幸次

幹事
寺坂基幸
会計
前田良治